

ワークライフバランス向上に向け、リモートワーク制度を本格導入 フレキシブルで効率良く業務ができる就業環境を提供

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス（本社：東京都中央区、社長：鈴木郷史）は、2018年3月より雇用形態にかかわらず全ての従業員を対象とした「リモートワーク制度」を本格導入しました。今後は順次、その他グループ企業への導入も検討しています。

リモートワーク制度の目的

本制度は、フレキシブルで効率良く業務ができる就業環境を提供することで、社員個々のワークライフバランス向上を図り、各々の個性を活かしながら刺激・経験を得る（感受性を高める）ことのできる環境・風土を実現することを目的としています。

2017年6月～7月まで各部門にて実施したトライアルでは、対象者の90%以上が「リモートワーク制度導入は賛成である」と回答し、その他「業務効率向上につながる」「時間捻出ができ、新しいことにチャレンジできた」などの意見から、本制度がワークライフバランス向上に有効であると判断し、この度本格導入となりました。

当社は本制度を活用することで、社員が自由に使える時間を増やすことだけでなく、これまでの仕事の仕方に縛られない柔軟な働き方を是とし、より多様な社員が活躍できる環境、風土を作っていくことを目指します。

リモートワーク制度の特徴

勤務場所や時間の柔軟な選択が可能となります。カフェや図書館、コワーキングスペースなど、自宅に限定せず選択ができ、社員それぞれが最も集中して、効率的に仕事を行うことができるようになります。

また、一日単位のみならず、半日、時間単位でのリモートワークを行うことができ、外出や出張時のリモートワークを推奨することで、社員は通勤時間や移動時間などにかかる時間を減らし、自らの時間を有効活用することができます。

さらに、正規社員・契約社員などの雇用形態を問わず全ての社員を対象に制度利用が可能です。広く社員がリモートワークを実施でき、働き方の選択肢を持つことができます。